

# 進路だより

都立永福学園 肢体不自由教育部門  
令和4年10月31日 発行  
校長 緒方 直彦  
No.4 文責 島田裕次郎

日頃から本校の教育に御理解と御協力をいただき、ありがとうございます。  
今回は夏季施設見学会の報告をします。



## ○ 夏期施設見学に行ってきました

8月15日（月）～19日（金）に、児童・生徒、保護者の皆様、教職員で、高等部卒業後に利用する進路先施設の見学をしました。事前に人数調整をさせていただきましたが、総勢60名が参加しました。中でも、親子での参加が多く、子どもたちにとっていい発見になったと思います。参加した児童・生徒、保護者の皆様からいただいたアンケートを一部紹介します。

### ～ 保護者の皆様から ～

卒業後の進路を考えるにあたって、できるだけたくさんの施設に足を運んで、イメージをふくらますことが大切だと思いました。(中)

物を重ねたり、袋に入れたり、こちらがついやってしまうような作業も将来に活かせると信じ、本人にやらせてみようと思います。小さなことでもできることを増やそうと思いました。(中)

学校より人的手厚さがないので、一人で過ごす時間もつくらなければいけない。待てるということが大事なのかも思えないと思った。(中)

初めての見学でした。今後のイメージができ良かったです。早く見た方がいいし、いろいろな施設や現状をもっと知りたいです。(前は興味なかったですが)施設のお祭りなどがあつたら行ってみたいと思いました。(小)

生産活動を取り入れることで、本人のモチベーションを上げるということに感銘を受けました。家庭でもモチベーションを上げるために、お手伝いや人の役に立つということを取り入れたいと思います。(高)

活動内容が豊富で楽しく過ごせそう。家ではできないスヌーズレン等、刺激もあり安心した。(小)

車椅子からの移乗や入浴時はリフトを利用されていた。将来的に私も高齢となり、体に負担をかけないように考えていかなければいけないと思いました。(中)

### ～ 児童・生徒から ～



作業をしていてカッコよかった。  
作業が上手だった。

卒業生がまじめに仕事をしていました。このショートステイだったら泊まれそう。

児童・生徒からの感想には、先輩や利用者さんへの「あこがれ」の気持ちがあらわれています。「あんな風に自分もなりたい」と、憧れを抱いて目標にすることは、子どもたちの成長にとっても大切なことです。今回の見学がいいきっかけとなり、とてもうれしく思います。

御紹介した他にも、たくさんの感想をいただきました。本当にありがとうございます。どれも鋭い視点のものが多く、皆様の関心の高さを感じました。また、「今からでもやってみたい」という前向きな発言にも感動しました。

施設の様子は、年を追うと変わっていきます。一度行ったことのある施設でも、再度見学し、最新の情報にアップデートしておくことが大切です。